

おおさか文化遺産めぐり その207

ノーベル賞作家・川端康成の 幼少年期の資料を多数収蔵

日本で初めてノーベル文学賞を受賞した作家・川端康成（以下康成）は、幼少期を現在の大阪府茨木市で過ごしました。この時期を中心に康成の貴重な資料を常設展示した茨木市立川端康成文学館（以下川端康成文学館）は、来月で開館40周年を迎えます。



康成に関する資料約400点を展示

万年筆と原稿用紙で 作家体験

3歳になるまでに両親を亡くした康成は、祖父父母の元に引き取られ、旧制茨木中学（現・茨木高校）を卒業するまで現在の茨木市で暮らし続けた。その後、進学をきっかけに関東に住まいを移しますが、地元の縁戚との関係は続き、文学碑の除幕式や名誉市民推荐式のため、ノーベル賞受賞の翌1969（昭和44）年にも茨木市を訪れています。

このように茨木市とゆかりの深い康成の業績を称え、多くの人に作品に親しんでもらう拠点として川端康成文学館は1985（昭和60）年5月に開館しました。著書、書簡、原稿などのほか、祖父父母と過ごした家の模型も展示されています。また、鎌倉の自宅の書齋を再現したコーナー「作家の書齋」では、康成愛用の原稿用紙を模した用紙に、「伊豆の踊子」や「雪国」の冒頭文などを万年筆で書く作家体験ができます。



- 1 鎌倉の自宅の書齋を再現。作家体験ができる
- 2 祖父父母と暮らした家の模型
- 3 茨木を中心に活動する美術家の展覧会や川端文学に関する企画展を開催するギャラリー。現在は開館40周年を記念して過去の企画展ポスターを展示
- 4 茨木市の漆芸家・武石勇が、川端文学のさわやかな読後感を白砂青松で表現した作品「爽韻」
- 5 康成ゆかりの場所を紹介した「川端康成文学散歩」

中学生時代から雑誌へ投稿 ノーベル賞を志す

川端康成文学館では、開業医だった父が我が子の誕生について母親（康成の祖母）に送った手紙、康成が父の医院の処方箋用紙を使った習字など、幼少期の貴重な資料を数多く所蔵しています。小学生のころは図画も得意で、「帯」の写生は細部まで丁寧に描かれています。

中学時代の成績表も展示されています。茨木中学にトップの成績で入学した康成ですが、卒業時は88人中35番にまで落ち込みます。2年生ごろから作家への願望が芽生え始め、読書に没頭するようになってきたことの影響かと考えられますが、主要教科の中では英語の点数は良く、将来は外国語でも作品を書き、「（ノー）ベル賞を思わぬでもない」とすでに日記に書いていたほどでした。

意外なことは作文の成績が、学年でビリから3番目だったこと。提出物を出さなかった

今秋に開館40周年特別展

康成の生誕月に合わせて毎年6月には「川端康成生誕月記念企画展」が開かれ、今年小説「眠れる美女」をテーマに取り上げます。秋には茨木高校創立130周年に合わせた

大阪府ウォーキング協会主催 大阪シティ信用金庫協賛

今月のおすすめウォーキング

4月のコースから一部をご紹介します

4月	曜	行事名	距離	最寄り駅・集合場所	集合時間	解散場所
12日	土	川西池田から猪名川沿いに南下	12km	JR 川西池田駅 駅前広場	8:45	JR 塚口駅
12日	土	浅香山のツツジ観賞	6km/12km	JR 堺市駅・東雲公園	9:45	JR 長居駅
16日	水	咲き誇る野田藤を眺にいこう	10km	JR 森ノ宮駅 森之宮公園	10:00	JR 海老江駅
22日	火	もう一度飛行機のお腹を見に行こう	10km	阪急 曾根駅 秋の寺公園	8:45	阪急 三国駅
27日	日	西国巡礼街道ウォーク	12km	阪急 池田駅	9:30	阪急 宝塚駅

※事前お申し込み不要です。会場へ直接お越しください

茨木市立川端康成文学館

〒567-0881 茨木市上中条2丁目11-25
TEL: 072-625-5978 ※入館無料

[開館時間] 9:00 ~ 17:00
[休館日] 火曜日、祝日の翌日、12月28日～翌年1月4日（展示替え、資料整理のため臨時休館あり）
[アクセス] JR 総持寺駅から徒歩約15分

大阪シティ信用金庫 北部市場支店